

# 令和3年度 学校関係者評価

<table border="1"> <tr> <td>学校名</td> <td>北海道室蘭工業高等学校</td> </tr> </table>		学校名	北海道室蘭工業高等学校	<table border="1"> <tr> <td>組織名</td> <td>学校評議員・PTA役員</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価者</td> </tr> <tr> <td>学校評議員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PTA役員</td> <td></td> </tr> </table>		組織名	学校評議員・PTA役員	評価者		学校評議員		PTA役員	
学校名	北海道室蘭工業高等学校												
組織名	学校評議員・PTA役員												
評価者													
学校評議員													
PTA役員													
<b>1 本年度の重点目標</b> (1) 基礎的・基本的学力を確実に身に付け、自ら学び続ける意欲と態度を育てる。 (2) 豊かな人間性と自主・自律の精神を育てるとともに、望ましい人間関係を構築させる。 (3) 自己の在り方、生き方を考え、自らを高め、主体的に進路を決定する能力を育てる。 (4) 自他の生命を尊重し、健康で安全を営む習慣を育てる。		<b>学校関係者評価基準</b> A=4：十分 B=3：概ね十分 C=2：やや不十分 D=1：改善が必要											
<b>重点目標の適切さ</b> 本校の伝統、校風を大切にしながら、生徒や家庭、地域の実態に合わせ重点目標を設定しているため適切と考える。													

## 2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等 小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
学校運営		学校運営は全教職員間の協働体制のもと、推進されている。	B	B	・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化を醸成する。	A (3.4)	A (3.4)	A (3.4)
		校内研修会の実施が適切に行われている。	B	B				
		職員会議は機能的かつ適正に行われている。	B	B				
		全教職員の共通理解による指導の一貫性は図られている。	C	B				
学校経営全般	関係機関との連携	学校の自己評価の結果は適切であると思われる。 ・小項目の「C」は、コロナ禍の影響をまだ受けていると思います。 ・面談、アンケートによるきめ細やかなフォローを図るという方策はとても適切と思います。 ・概ね良好な状況と言えますが、「A」や「C」の数値からも「何か行動したい」との思いが感じられ、忙しさもあり決して個々としての満足度は高くないのでは？改善にあります教職員の本音と個性を重視した面談は重要と考えます。						
		保護者との日常的な連携が図られている。	B	B	・PTA活動の活性化 ・家庭・地域、関係機関との連携の質の改善	A (3.6)	A (3.6)	A (3.4)
		地域と連携した多様な教育活動の推進が図られている。	B	B				
		スクールカウンセラー、パートナーティーチャー等の人材の活用は積極的に図られている。	A	A				
本校の教育活動をホームページ・PTA会誌等で家庭・地域に情報発信している。	A	A						
学校経営全般	関係機関との連携	充実したPTA活動が行われている。	B	B				
		学校の自己評価の結果は適切であると思われる。ただし、コロナ禍でPTA活動事業などが行えないので、PTA活動離れにならないか注意した方がよいと思います。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・情報発信については、教職員と保護者で多少評価が異なるようです。方策に書かれていることを確実に実施するしかないと思います。 ・良好な状況と言えます。現在、国は地域の困りごとを地域で解決する「地域共生社会の実現」を目指しており、様々な分野で技術校としての本校の活躍する場面もあるものと考えております。身近な所からの取組が地域からの信頼に繋がって評価されるものと考えます。 ・コロナで大変だったと思う。その中で少しでも取組ができたのではないかとと思う。						
		学習活動が効率的かつ適正に行われるよう組織が整備されている。	B	B	・わかる授業に向けた授業改善 ・学習者主体の授業の推進 ・授業規律の共通認識を形成	A (3.6)	A (3.4)	A (3.4)
		学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上、転退学・原級留置者の削減等の取組が行われている。	B	B				
授業の工夫・改善が行われている。	B	B						
教育活動全般	生徒指導	学校の自己評価の結果は適切であると思われる。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・生徒の評価が高いことに感心しました。今後も授業の改善などを推進してください。 ・良好な状況と言えます。コロナ禍での学生生活で私共は大変との思いが強い訳ですが、先日のTVで学生側の意見として多くのメリット「親子の時間が増えて絆が寄り深まった」「個人勉強時間が増えた」「コロナを現実社会と考える新たな発想が芽生えた」などと、卒業生が自ら企画し「思い出の残る卒業式」の報告もされました。私共の気づかない発想「学生の声や考え」も学習指導には重要と感じました。 ・授業の工夫など行われていると思いますが、授業の中で楽しく、やる気のでる様なのがあると良いのかなと。						
		規律ある生活習慣の確立(基本的な生活習慣、身だしなみ、授業)の取組が行われている。	C	B	・教育相談の質の充実 ・家庭・地域、関係機関との連携の質的強化	A (3.4)	A (3.4)	A (3.6)
		生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が保たれている。	B	B				
		本校の生徒指導は「学校いじめ防止基本方針」どおりに実行されている。	B	B				
教育活動全般	生徒指導	学校の自己評価の結果は適切であると思われる。引き続き、地域との連携が重要だと思います。 ・小項目の「C」は、おのおの家庭が絡んでいるので、その対応に苦勞を感じます。 ・この項目についても、生徒の評価が十分に高いと感じました。一方、教職員の感觸(規律～)としてはまだ十分ではないのかもしれませんが。方策に書かれているようなことが適切と思います。 ・概ね良好な状況と言えます。近年の生活環境での危機感として「声を出さない生活困窮者(度合いは様々)」の比率が高まってきており、把握は難しいですが国などの研究機関では20%程の推計がされています。私の周りでは緊急対応は行っているものの「ほんの一部と理解」しており、学生からのシグナルを如何に早く見つける事が重要視されており、これらの対応も必要と考えます。 ・コロナ対策など、今年も大変だったと思います。クラスターにならなかったのは、きちんと取組が行われたからだと思う。						
		進路意識の高揚を図る取組の推進が行われている。	B	B	・インターンシップの質の充実 ・切れ目のないキャリア教育の推進 ・進路実現のための支援の本質を追求	A (3.6)	A (3.4)	A (3.4)
		望ましい職業観や勤労観及び職業に関する知識や技術を身に付けるようなキャリア教育が行われている。	B	B				
		生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。	B	B				
教育活動全般	生徒指導	学校の自己評価の結果は適切であると思われる。就職については、地元企業との連携を重視した方がよいと思います。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・生徒の8割、保護者の9割が入学して良かったと考えています。出口である進路まで含め、しっかり成長させることができていると思いました。今後多様な進路を実現させてください。 ・良好な状況と言えます。 ・生徒、保護者に色々な企業の仕事内容、魅力などを教えてほしい。いろんな企業に訪問できたらいかなとと思う。						
		進路意識の高揚を図る取組の推進が行われている。	B	B				
		望ましい職業観や勤労観及び職業に関する知識や技術を身に付けるようなキャリア教育が行われている。	B	B				
		生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。	B	B				

## 3 学校関係者評価におけるご意見等

・コロナ禍で、なかなか教育活動がしづらい中、学校関係者の努力を期待しています。 ・その他として、評価表(評価項目、指標等)の項目に女性生徒に対しての項目を作ってみては…。工業高校の女性生徒として見た場合に…。 ・全体的に十分な取組、改善策を行っていると思います。あえて言うなら、1割弱の生徒が常に否定的な反応をしています。不本意入学者かもしれませんが、そのような生徒をどうやって減らすかが御校のみならず、大学も含めた学校・教育機関の課題と思っています。 ・世界市場も含め、大きな技術改革の時代を迎え、それらの先取りも含めた新たな教育が求められている中においては、普通校とはまったく異なる次元や設備費など多くの課題がある状況での学校教育は並々ならぬものがあると考えております。私も微力ではありますが皆様と共に努力してまいります。
--